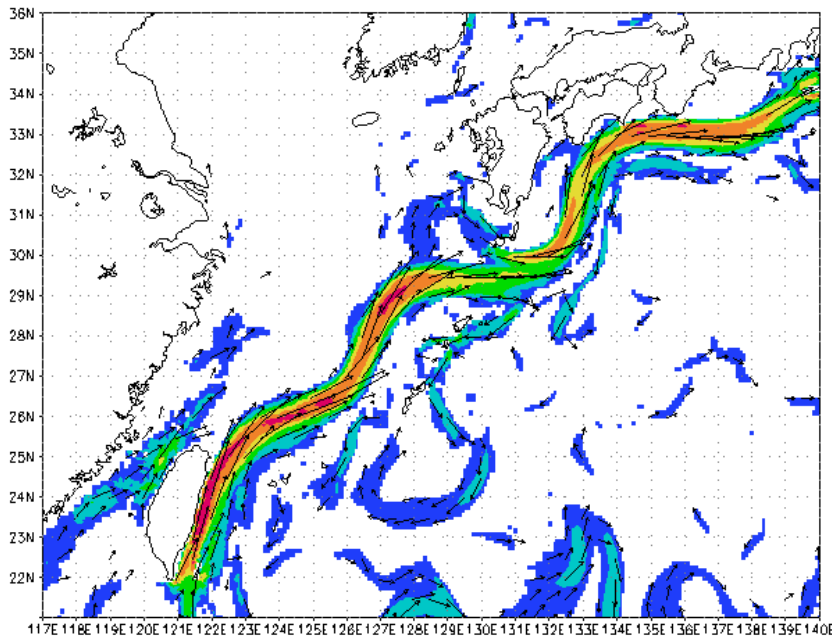


商船燃費節約



海流予測データの活用

Newspaper (Nikkei)
2008.03.14



NYK VLCC 'Takamatsu'



日本郵船の原油タンカー

予測情報をもとにした原油タンカーの省エネルギー運航を月内に始める。毎週更新される潮流図を使い、流れの速い場所を選んで運航。この潮流の流れの向きと速さを、燃料費高騰に対応し、燃料費削減にもつなげる。実証試験では消費燃料とCO₂排出量を従来より最大9%削減できたという。

潮流のかみ省エネ運航

日本郵船は潮流の詳細な予測情報をもとにした原油タンカーの省エネルギー運航を月内に始める。毎週更新される潮流図を使い、流れの速い場所を選んで運航。この潮流の流れの向きと速さを、燃料費高騰に対応し、燃料費削減にもつなげる。実証試験では消費燃料とCO₂排出量を従来より最大9%削減できたという。

消費燃料、最大9%減

山形俊男東大教授（海洋・気候学）と三菱総合研究所が設立した「海流予測情報利用有償責任事業組合」の海流予測図を利用する。同組合は独立行政法人の海洋研究開発機構などが集めた海流や海水温度の実測データと過去のデータをもとに予測図を作成。一週間ごとに更新する。海運各社はこれまでも潮流を使って船舶を運航してきたが、潮流の位置や速さの把握は大まかだった。

Big oil tankers (VLCC) has actually taken its ship route along the Kuroshio near the Okinawa Islands and confirmed **9% reduction of fuel consumption** corresponding to 40-ton of oil.